

【地域経済を取り巻く環境の変化】

競争環境の変化

- ◆ 海外企業との競争激化、国内市場の縮小
 - **新事業・新分野進出、拡大する海外市場参入の必要性の高まり**
 - **知の融合・連携によるイノベーション創出・事業高度化ニーズの増加**
- ◆ 製造業の空洞化の進行、サービス経済化の進展
 - **産業構造変化への対応の必要性の増加**
(地域経済における製造業割合の低下)

社会環境の変化

- ◆ 新技術の出現（IoT、ビッグデータ、AI等）
 - **新ビジネス創出の可能性・容易性の増大**
- ◆ IT化の進展、物流網の発達
 - **地理的集積の意義の相対化**

【従来の産業集積効果】

- ① 専門人材の確保
- ② 域内分業（価格競争力・取引拡大）
- ③ 知識の集約・高度化

立地環境の変化

- ◆ 人口減少・少子高齢化、若者の都市部流出
 - **人材・人手・後継者不足の顕在化**
(人材・人手確保の容易さは重要な立地要因)
- ◆ 国内拠点の再編、海外移転による工場立地の減少
 - **工場跡地、空き工場の増加**
(特に、従来の重点立地地域、臨海部)
- ◆ 国内立地を巡る新たな動き
 - **スマートIC近隣や都市部等への立地増**

【今後の検討の視点】

- 従来の企業誘致や企業立地（創業）の支援に加えて、**イノベーション・新分野進出や海外市場への参入**を促進するため、**製造業に限らず、既存の地域の企業の事業高度化（成長・拡大）支援**にも重点を置く
- **イノベーション・新分野進出の加速**に向けて、**広域での連携・ネットワーク**による全国大での知識・情報の集積と融合・活性化（外部からの刺激）、および企業支援の鍵となる**支援機関・支援人材の機能強化**を図る
- 企業活動の基盤・大前提となる**人的資源（人材・人手・後継者）の確保・育成**を推進する
- 今後の**産業構造と近年の立地動向を踏まえた地域のインフラの整備促進・活用**を推進する

【地域企業への支援方法】 ① **地域経済を牽引する企業への支援**、 ② **地域経済を支える幅広い企業の維持・成長支援**

【論点例】

事業支援	支援体制（地域）	支援体制（広域）	環境整備（ソフト：人材）	環境整備（ハード）
1-1. 事業高度化等の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・新事業・新分野進出、創業・第2創業の促進 ・海外展開の促進 ・既存事業の高度化 (設備生産性の向上、高付加価値の新商品開発の促進) ・サービス業等の成長促進 (IT、IoT等の新技術活用支援) 	2. 支援機関、支援人材の強化育成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の産学官金の役割分担・連携強化 (地域のリソースの有効活用、技術・ニーズ等のマッチング) ・地域内外の支援人材の発掘・見える化の推進と、専門知識と知見の有効活用 ・インキュベーション施設や試験研究機器の整備促進 	3. 広域連携、異業種連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・全国の支援機関・支援人材の情報共有と地域を越えたマッチング ・新たなイノベーション創出に向けた共同研究・事業化・販路拡大への協働 ・主体的役割を果たす活動体の支援 ・業種の垣根等をまたぐ連携の推進 (農商工、医工、ベンチャーとの連携) 	4. 人材・人手等の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・UIターン等の推進（地域限定社員等） ・潜在労働力の掘り起こし（テレワークの推進、女性・高齢者等の活用） ・生産性向上による人的資源の創出と育成、成長分野への再配置 ・大学等との連携での高度人材育成 ・地域企業の見える化と、学生へのつなぎ・マッチング 	5. インフラの整備促進・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・港湾・道路等の整備との連携、産業インフラの維持・整備 ・工場跡地活用の促進 (跡地情報の集約、需給マッチング) ・新たな立地(スマートIC近隣等)への対応 (農地転用、用途規制緩和) ・都市部への立地回帰への対応 (都市計画、コンパクトシティ化、中心市街地活性化等との関連性)

【広域ネットワークが集積に付与する効果】 ◆域外からの新たな刺激によるイノベーションや新分野進出等を促進する効果 } 従来の産業集積効果を補完・強化
◆域内のリソースを補完・強化する効果

【再掲：従来の産業集積の効果】 ◆ 専門人材の確保 ◆ 域内分業（価格競争力・取引拡大） ◆ 知識の集約・高度化